

4-12

PCを使った利用者情報の一元化

ケアの現場で入力したものを、全部門で活用

情報の共有化

ペーパーレス

特別養護老人ホーム ヨコタホーム

介護職員・内村育恵

介護職員・飯田直喜

東京都福生市福生 2300 番4

TEL 042-553-6633

E-mail sakoda@mokuseikai.or.jp

FAX 042-553-6686

URL http://www.mokuseikai.or.jp

施設またはサービスの概要

特別養護老人ホームヨコタホームは平成8年4月に開設され、入所定員100名・ショートステイ6名の施設です。2階と3階にそれぞれ50名とショートステイの方が生活されています。ホームの平均介護度3.6、平均年齢83.3歳。

〈取り組んだ課題〉

現在、利用者の情報は介護職員・看護師・リハビリ・相談員の部署ごとにファイルで管理し、必要時、他部署に伝えている状況である。このような体制では、利用者に関する情報を十分に活用し、利用者のケアに生かすことはできません。

今回、各部署の利用者情報をワークステーション内のPCに集約し、いつでも、誰もが必要な情報を見ることができるというシステムを導入し、情報の一元化に取り組んでいる現状を報告いたします。

〈具体的な取り組み〉

導入前：システムを実施している施設見学、実演会

平成18年10月：プロジェクトチーム結成

平成19年3月：システム導入、基本情報の入力

プロジェクトチームへ指導

平成19年6月：生活課の全職員に指導、周知

(導入の意義・入力方法)

- ・まず、食事摂取量の入力から始め、段階的に入力計画を立て実施した。
- ・役に立つ資料を作成するため、業者と話し合いを重ねプログラムの改善を図った。
- ・正確でモシのない資料を作成するため、職員による入力のチェック、印刷物での入力状況の確認を行なっている。

〈活動の成果と評価〉

①毎日、全利用者のケアに関する情報を、ワンタッチで見ることができ、数値やケアの気付きを得ることができる。

《現在、活用しているケア情報》

○食事・服薬・口腔ケア

○排尿の介護実績

○排便状況

○飲水量

○ケアプランに沿ったケアや利用者の状態変化等を入力したケース記録

②栄養ケアカンファレンスの「基本資料」が自動的に作成できたことにより、正確な情報と資料作成の時間を大幅に削減できた。

〈今後の課題〉

①現在、ワーカー日誌の自動作成に取り組んでいる。

②ケアプランに沿ったケア実績の入力を押し進める。

このことにより、介護職員のケアプランに対する認識を深め、考えるケア・工夫するケアにつながると考えている。

③このシステムの各自携帯の端末(PDA)を使って、申し送り・伝達事項等の職員への周知の徹底を図る。

④PC化により減少した記録時間を、利用者サービスに生かす。

〈参考資料など〉